

2021年 自治医科大学

高校生小論文・スピーチ動画コンテスト



テーマ

私たちが描く、
この未来の地域医療

※募集期間を延長しました

応募締切

2021年6月4日 ▶ 6月18日

ちいきを診る



入賞者を地域医療プレキャンプ in Jichi
にご招待！

6/4 ▶ 6/18 〆切

8/19-20

高校生
小論文・
スピーチ動画
コンテスト

地域医療
プレキャンプ
in Jichi

(コンテスト入賞者20名) 佳作(80名)
図書カード千円分

自治医科大学

大賞(小論文部門・スピーチ動画部門 各1名)

図書カード10万円分

優秀賞(若干名)

*大賞・優秀賞は入賞者の中から
選考し、表彰式にて発表します

図書カード5万円分

入賞(両部門総計20名)

図書カード千円分

年度内

読売新聞主催
「高校生向け
医療体験プログラム」
と連携し、地域医療
の現場に派遣

(若干名)

地域医療の
最前線

■問い合わせ先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

自治医科大学 学事課「小論文・スピーチ動画コンテスト」係

Tel : 0285-58-7045 Fax : 0285-44-3625

E-mail : jichinyu@jichi.ac.jp



自治医科大学
Jichi Medical University

後援：読売新聞東京本社

2021年 自治医科大学 高校生小論文・スピーチ動画コンテスト

このコンテストは、次世代を担う高校生の皆さんと一緒に、身近な地域医療のあるべき姿を考えたいとの思いから始まり
ました。入賞者は地域医療プレキャンプに招待します。さらに入賞者から選抜された方は、年度内に開催する地域医療
派遣に参加できます。(日程・派遣先は別途調整。2020年は隠岐島前病院・八戸市立市民病院とWebセミナーを
実施)

さ き

【テーマ】私たちが描く、この未来の地域医療

【応募資格】高等学校に在籍している生徒(1~3年生)

【募集内容】

- ・小論文： 文字数1,200字以内の上記テーマに関する小論文。
- ・スピーチ動画： 上記テーマについてのスピーチ風景* (90秒以内) を撮影した動画。
* 白板やパソコンなどを使用せず、口頭のみで説明を行って下さい。

【募集期間】

- ・2021年4月1日(木)~6月4日18日(金)

【応募方法】

- ・オンライン(小論文・スピーチ動画)もしくは郵送(小論文のみ)での応募を受け付けます。
※詳細は自治医科大学ホームページ内の「高校生小論文・スピーチ動画コンテスト」ページの手順に従って応募してください。

【注意事項】

- ・応募は、1名につき「小論文」か「スピーチ動画」のどちらか一方のみとし、またグループでの応募は認めません。
- ・応募は、応募者本人が日本語を用いて行った作品で未発表のものに限ります。
- ・本コンテストへの応募作品を他のコンテスト等へ重複して応募することは認めません。
- ・応募作品の著作権は、自治医科大学に属します。
- ・本コンテスト入賞者の中から大賞・優秀賞を選考するため、本学での地域医療プレキャンプへの参加は必須となります。
また、地域医療派遣への選考を希望する方についても、プレキャンプへの参加は必要となります。
- ・プレキャンプ参加に伴う交通費、宿泊費は大学が負担します。(交通費は、大学旅費規程に基づき、高校最寄りの公共交通
機関から大学までの旅費を支給。)
- ・地域医療派遣への参加は任意です。詳細は入賞者にお知らせします。
- ・応募作品の中で他の著作物を引用する場合は、その箇所を明らかにしてください。
- ・他の著作物からの盗用(全部、一部)が確認された場合は、失格とし、所属高校にその由伝える場合があります。
- ・小論文に図表を付ける場合、2つ以内とします。図表のタイトル、参考文献一覧などは、字数に含みません。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、代替プログラムの実施等、内容が変更となる場合がございます。

【入賞者の発表】

- ・自治医科大学ホームページで計20名の入賞者を発表し、本人には郵送でお知らせします。(7月下旬予定)
※入賞者の氏名・学校名・学年および作品を公表することをあらかじめ了承してください。

【表彰式・地域医療プレキャンプ in Jichi】

- ・2021年8月19日(木)~20日(金) 場所：自治医科大学

審査委員長



永井 良三
自治医科大学 学長

1974年 東京大学医学部卒業。医学博士。1983年 米国パーモント大学留学。2003年 東京大学医学部附属病院病院長。2012年より現職。2019年より宮内庁皇室医務主管、ベルツ賞、日本医師会医学賞など多数受賞。



武藤 真祐
医療法人社団鉄祐会 理事長

1996年東京大学医学部卒業。2014年 INSEAD Executive MBA。東大病院、三井記念病院にて循環器内科に従事後、宮内庁で待医を務める。東京医科歯科大学医学部臨床教授、第2回イノベーター・オブ・ザ・イヤー、武見奨励賞受賞。

特別審査員



本田 麻由美
読売新聞東京本社
医療部 次長

医療情報部、社会保障部などで主に医療・介護の取材を担当し、認知症や在宅医療の企画を手がけてきた。2002年に乳がんが見つかり、治療を続けながらコラム「がんと私」を朝刊で6年間連載し、国内外の医学記事賞を受賞。厚生労働省厚生科学審議会委員、東大大学院非常勤講師(医療コミュニケーション学)なども務める。



町 亞聖
フリーアナウンサー

1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、報道キャスター、記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。2011年にフリーに。母の介護、母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」(小学館文庫)は大きな話題を呼んだ。文化放送、ニッポン放送で番組を持つ他、医療、介護問題についての執筆活動も行う。

審査員(自治医科大学教員)

(五十音順)

青山 泰子 准教授(社会学)
浅田 義和 准教授(医学教育センター)
石川 由紀子 講師(総合診療部門)
遠藤 和洋 講師(先端医療技術開発センター)
大澤 英之 病院講師(臨床腫瘍部)

小坂 仁 教授(小児科学)
川平 洋 教授(メディカルシミュレーションセンター)
久保 太郎 病院助教(小児泌尿器科)
清水 敦 准教授(緩和ケア部)
高瀬 聖吉 教授(心理学)

田中 大介 教授(文化人類学)
野田 弘志 准教授(総合医学2)
福嶋 敬宜 教授(病理診断部)
間藤 卓 教授(救急医学)

